

## ポスター発表募集案内

### 1. 趣旨

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議は、近年、人手をかけながら高レベルの生物多様性や生物生産性を維持できる海域を「里海」と名付け、人との関わり合いのなかで豊かな海を再生し、保全する方策を議論・提言してきました。

平成27年度のフォーラムは『瀬戸内海における地域資源の再評価と再編ー豊かな里海創成期の転機に立つ瀬戸内海ー』をメインテーマに奈良市で開催いたします。

第2セッションにおいては、ポスター発表の形式で「環境保全・創造に関する研究・活動報告」の機会を設けますので、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

なお、優秀な発表3件につきましては、最終日に表彰させていただきます。

### 2. 募集要領

募集テーマ：環境保全・創造に関する研究並びに活動報告

応募期限：平成27年6月30日（火） ※発表者の決定は7月上旬予定

応募方法：①別紙発表申込書にご記入の上、事務局までメール、FAX または郵送で送付下さい。

②発表内容が本フォーラムの趣旨と著しく異なる場合は、発表をお断りすることがあります。

③発表代表者1名のフォーラム資料代は無料とします。

発表形式・発表時間：

①概要発表（5分\*）とポスター発表を組み合わせたハイブリッド方式です。

②ポスターはフォーラム開催期間中掲示できます。

③ポスター展示スペースのサイズ：横90cm×縦150cm（予定）

④発表概要（A4：1ページ）を要旨集に掲載いたします。

発表者決定後、7月28日（火）までに原稿の作成をお願いいたします。

発表要旨原稿の作成要領については、瀬戸内海研究会議ホームページ（<http://www.seto.or.jp/kenkyu/>）に掲載いたします。

⑤上記の詳細につきましては、応募を受けました後、お知らせいたします。

\*応募者多数の場合は選考させていただくことや若干発表時間が短くなることがあります。

本フォーラムについては、「瀬戸内海研究フォーラム in 奈良」の概要（別紙）をご参照ください。

### 3. 表彰

最終日に、最優秀賞（1件）、優秀（2件）の発表と賞（図書カード）の授与を行います。

<お申込・お問合せ先>

特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

人と防災未来センター東館5階 （公社）瀬戸内海環境保全協会内

TEL：078-241-7720 FAX：078-241-7730

E-mail：[saku@seto.or.jp](mailto:saku@seto.or.jp)（担当：作）

## 平成27年度「瀬戸内海研究フォーラム in 奈良」

**1. メインテーマ**

『瀬戸内海における地域資源の再評価と再編ー豊かな里海創成期の転機に立つ瀬戸内海ー』

**2. 開催趣旨**

瀬戸内海は、瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年、瀬戸内海国立公園指定80周年を経て、今、歴史的に大きな転機に立っている。環境保全においては地域特性を重視した新たな段階に進む局面にあり、風景等の地域資源においても新たな掘り起こしがはじまっている。瀬戸内海は瀕死の海を脱したものの、生物多様性と生物生産性の豊かさの回復が課題であり、瀬戸内海全体の管理から地域性・季節性に合ったきめ細かい管理へと再編されようとしている。風景の見方も内海多島海景観の俯瞰から、島嶼内部の生業景観の巡り歩きへと変化し、文化的景観、産業景観等の評価とともに、風景が再編されようとしている。

瀬戸内海は世界から注目されつづける不思議な場所である。19世紀に欧米人にいち早く絶賛されて以来、21世紀の現在、海と人の共生する SATOUMI として世界から評価されはじめ、直島のアートや瀬戸内国際芸術祭が世界から注目されている。瀬戸内海の再評価と再編がおきている。

本フォーラムは、奈良特有の地域資源の生成を環境と文化の関係から紹介しつつ、海域、風景等の地域資源の再評価と再編の観点から、豊かな里海創成期の転機に立つ瀬戸内海を浮きぼりにしたい。

**3. 日時・会場**

開催日程：平成27年9月3日（木）～4日（金）

開催会場：奈良県文化会館

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2 TEL：0742-23-8921

・フォーラム：小ホール（本会場）、展示室C（ポスター展示会場）

・懇親会：集会室A+B

**4. 参加料等**

フォーラム：無料（参加人数：各日200名程度）、資料代1部1,000円

懇親会：3,500～4,000円程度

**5. 共催・後援等（申請予定）**

主催：特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議

共催：瀬戸内海環境保全知事・市長会議

協賛：公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

後援：環境省、奈良県、奈良市、他

## 6. 運営委員会の構成

- 委員長： 西田 正憲（奈良県立大学地域創造学部教授、瀬戸内海研究会議理事）  
委員： 佐山 浩（関西学院大学総合政策学部教授）  
藤井 智康（奈良教育大学教育学部准教授）  
井原 縁（奈良県立大学地域創造学部准教授）  
柳原 章二（奈良県くらし創造部景観・環境局環境政策課長）  
油谷 彰浩（奈良市環境部環境政策課長）

## 7. プログラム

【3日(木) 13:00～18:40】

開 会 13:00～13:25

第1セッション 13:30～15:30

### 掘り起こされる瀬戸内海の多様な地域資源

コーディネーター：関西学院大学総合政策学部 教授 佐山 浩

(1) 世界につながる瀬戸内海の宝『衆鱗図』

香川大学農学部 技術補佐員 滝川 祐子

(2) 奈良「山辺の道」の発見と風景の再編

京都大学大学院工学研究科 助教 山口 敬太

(3) 瀬戸内海の近代国防遺産

立命館大学文学部 教授 唐澤 靖彦

(4) 奈良県の景観資産登録制度

奈良県くらし創造部景観・環境局景観・自然環境課 課長補佐 梶岡 優光

休 憩 15:30～15:45

第2セッション 15:45～18:40

### 環境保全・創造に関する研究・活動報告(ポスター発表・ハイブリッド方式)

コーディネーター：奈良教育大学教育学部 准教授 藤井 智康

【ポスターの展示要領】・展示期間：9月3日(木) 12:00～18:40

9月4日(金) 9:30～15:30(2日間)

・展示場所：展示室C

**【4日(金) 9:30~15:30】**

**第3セッション 9:30~11:30**

**大和川の環境と文化ー多様な文化を生み出してきた水系**

コーディネーター：奈良県立大学地域創造学部 准教授 井原 縁

(1) 大和川と「史跡」ー唐古・鍵遺跡と大和川・寺川ー

田原本町教育委員会文化財保存課 課長 藤田 三郎

(2) 大和川と「名勝」ー依水園・奈良公園と吉城川ー

京都造形芸術大学環境デザイン学科 教授

/日本庭園・歴史遺産研究センター 所長 尼崎 博正

(3) 奈良盆地の歴史的都市・集落と水環境

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 増井 正哉

**昼 食 11:30~12:30**

**第4セッション 12:30~15:00**

**豊かな里海創成期の転機に立つ瀬戸内海**

コーディネーター：奈良県立大学地域創造学部 教授 西田 正憲

(1) 瀬戸内海における環境政策

環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室 室長 根木 桂三

(2) 瀬戸内海の環境の現状と課題

広島大学 名誉教授 松田 治

(3) 失われゆく瀬戸内海の生活文化

愛知大学地域政策学部 教授 印南 敏秀

(4) 「里海」の明日を考える

中国新聞社 論説副主幹 岩崎 誠

**休 憩 15:00~15:10**

**総括・ポスター賞表彰式・閉会 15:10~15:30**

総 括 フォーラム運営委員長 奈良県立大学地域創造学部 教授 西田 正憲

ポスター賞表彰 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議 理事長 柳 哲雄

閉会あいさつ 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議 副理事長 多田 邦尚

閉 会